

市民と議会

つ な が る

生活環境常任委員会

多摩市男女平等参画
推進審議会

今回は、多摩市の男女平等参画が一步一步着実に前進するよう活発な議論で後押しをしてくださっている、男女平等参画推進審議会のみなさんにお話を伺いました。



「困難な状況にある女性への横連携による支援に関する提言」を市長に提出

生活環境常任委員会(以下、生活環境)：令和6年4月より、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(以下、新法)が施行されました。審議会が開催されている意義をどのように感じていますか。

男女平等参画推進審議会(以下、審議会)：審議会では、新法以前より困難な状況にある女性について議論し、提言も出てきました。「多摩市女と男がともに生きる行動計画」の見直し時には、その内容を反映していく予定です。

生活環境：市の現状の評価や注目している施策は何ですか。

審議会：新法が施行され、困難女性と言われている方々を取り巻く環境が複雑化・多様化しているところへの、もう一段の取組みを進めていく必要があります。市の施策は先進的で充実しているので、必要としている人にしっかり届けることが課題だと捉えています。

生活環境：いま市が一番に取り組むべき課題はなんですか。

審議会：基本的な部分はできているので、新たなことをやって欲しいと思います。全国的に防災と高齢者支援の分野はまだ進んでいないこともあるので、さらにリードをとっていけると、より誇れる多摩市になると思うので頑張っています。



地域を担う女性リーダーの育成が喫緊の課題

生活環境：市が進めている防災時の女性リーダー育成のために、男性に必要なことは何でしょうか。

審議会：男性に災害避難時における女性の困難さを知ってほしいと思います。また災害時には女性に炊事、男性に力仕事を任せるなど、普段の意識や長年の慣習が出やすくなるため、日常から性別で区別しない考え方を持つことが大事です。そして、どうしたら女性リーダーを盛り上げられるかを日ごろからぜひ考えて下さい。



会派を越えて議会として提言の実現を

生活環境：最後に市民の代表ともいえる多摩市議会に対して、男女平等参画推進のために望むことはありますか。

審議会：私たちは時間をかけて、幅広い課題に対して議論を重ね、積み上げて、提言をまとめてきました。受け止めて頂いて実践してもらうことが強い希望です。

議会の特徴として、会派があります。男女平等参画推進という観点を各会派で認識し、理解醸成をすると共に、会派横断的なコミュニケーションにより推進していくことが、議会の強みを発揮することであると思うので期待しています。